

執筆要項

1. 原著論文(Article)は 16,000 字相当 (図表も含む。以下同様)、但し刷り上がりで 15 頁までとする。展望 (Review) は 20,000 字程度、但し刷り上がりで 18 頁までとする。報告・資料論文(Report)は 12,000 字程度、但し刷り上がりで 11 頁までとする。短報 (Short Report) は 4,000~8,000 字相当、但し刷り上がりで 8 頁までとする。
2. 第 1 著者は会員でなくてはならない。
3. 上記原稿は A4 判用紙に 32 字×25 行、英文原稿の場合はダブルスペース仕様で 17 行前後を目安とする。原稿を投稿用紙、英文校閲証明書と共に下記編集委員会まで電子メールにて提出すること。なお、上記書式の場合、本文 2 頁が掲載時ではおよそ 1 頁に相当する。
4. 論文の表題、著者名、所属機関名およびそれらの英訳は本文とは別に書くこと。
5. 原著論文および資料論文は原則として、問題 (目的)、方法、結果、考察、文献からなることが望ましい。
6. 短報を除き、全ての論文には英文アブストラクトをつける。アブストラクトは、問題 (Objectives)、方法(Method)、結果(Results)、結論(Conclusion)などを 100~175 語以内で簡潔にまとめる。投稿時には、アブストラクトの日本語原稿 (和文抄録) も添付すること。英文アブストラクトは、投稿前に専門家の校閲を受けること。英文アブストラクトおよび日本語原稿 (和文抄録) にそれぞれ 3~5 語のキーワードをつける。なお、英文アブストラクトは各自ネイティブチェック (専門家) を受け、その証明書を提出する。(Homepage からダウンロードすること。)
7. 本文の記述は簡潔で明解にし、新仮名使い、当用漢字、算用数字を用い、図表はその大きさを本文に換算して所定枚数に納めること。所定枚数を越えた分については著者負担とする。
8. 図および写真はそのまま掲載可能な鮮明なものを提出すること。なお、図がカラーの場合には著者負担になる。
9. 表の場合は上に Table1、Table2 あるいは表 1、表 2 のように、図の場合には下に Figure1、Figure2 あるいは図 1、図 2 のように通し番号をつけ、それぞれに見出しをつける。表、図、写真などの題、説明文、図表中の文字は英文にしてもよい。図表は本文中には挿入せず最末尾に置き、掲載箇所のみ本文欄外に明示すること。
10. 数字は原則として算用数字を用いる。計量単位は原則として国際単位を用いる。
11. 略語は一般に用いられているものに限る。ただし、初出の時にその旨を明記する。
12. 脚注は通し番号をつけて別紙に書き、本文中の番号と対応するように註 1) 註 2) のように記す。
13. 外国人名、地名等の固有名詞以外は訳語を用い、必要な場合、初出のとき原語を付す

ること。

14. 本文で引用された文献の配列は、著者名のアルファベット順とする。

文献掲載様式は、雑誌の場合：著者名・発行年（西暦）・題名・雑誌名・巻号数・掲載頁とする。単行本の場合：著者名・発行年（西暦）・書名・発行所・引用・参考箇所
の頁とする。翻訳の場合：原典の著者名・発行年（西暦）・書名・発行所（著者名の訳語・
翻訳者名・翻訳書の発行年・書名・発行所）とする。このとき、和文、欧文を問わず、
雑誌の巻数はボールド（**太字**、あるいは波線のアンダーライン）に、また欧文の雑誌
名および書名はイタリック（*斜体*、あるいは実線のアンダーライン）にする。

<凡例>

日野原重明（1999）. <ケア>の新しい考えと展開 春秋社

木野和代（2000）. 日本人の怒りの表出方法とその対人的影響 心理学研究, 70, 494-502.

Sourial,S.（1966）. An analysis and evaluation on Watson's theory of human care.
Journal of Advanced Nursing. 24, 404-402.

Kleinman,A.（1980）. Patients and healers in the contexts of culture. University of
California Press.

（クラインマン, A. 大橋英寿・作道信介・遠山宜哉・川村邦光（訳）（1992）. 臨床
人類学—文化のなかの病者と治療者— 弘文堂）

なお、その他表記の詳細については、『APA 論文作成マニュアル』あるいは日本心理学会発
行の「執筆・投稿の手びき」を参照のこと。

原稿送り先

「ヒューマン・ケア研究」編集委員会

〒980-8576

宮城県仙台市青葉区川内 2 7 - 1

東北大学大学院教育学研究科 安保研究室気付

TEL : 022-795-6149(FAX 共) (ダイヤルイン)

E-mail: jhcs@m.tohoku.ac.jp

※英文校閲証明書など添付が難しい場合、上記編集委員会まで郵送または FAX でお送りく
ださい。